2025 年 7 月 15 日

専門委員会開催報告

会合名	第 1 回「過酷事故時及び事故後の放射性物質挙動」研究専門委員会
会議種別	(本会議) 幹事会 メール審議 その他*(　　) *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2025 年 6 月 13 日(金)10:00～12:00　メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	Web 会議(Teams 利用)
参加者名	山根氏、佐藤主査、唐澤幹事、三輪幹事、江藤幹事、高木幹事、有田委員、 出光委員、内田委員、岡田委員、甲川委員、駒委員、杉山委員、堤口委員、 永井委員、中村(勤)委員、浜田委員、日髙委員、深澤委員、宮原委員、柳生委員、 計 21 名
議　事	1. 主査挨拶(佐藤主査) ・通算で第 3 期となる本研究専門委員会の発足に当たり、東京都市大・佐藤主査より、出席の感謝と活発な議論をお願いする旨の挨拶があった。 2. 設立趣旨確認(佐藤主査) ・本研究専門委員会の運営方針として、①FP への関心の継続性維持、②研究成果の利用促進、③FP に関する知の他分野(再処理、燃料製造、等)への展開が掲げられた。 3. 委員紹介・委員会への要望 ・各委員より自己紹介、並びに、それぞれの専門分野の紹介を行った。 ・各委員の研究一覧のようなものがあると良いとの意見が出された。 4. 紹介「“1F 廃炉に係る核分裂生成物挙動研究専門委員会”技術報告書」(唐澤幹事) ・第 2 期 4 年間のまとめとしての技術報告書の目次が紹介された。 5. 講演「SAWG(核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ)フェーズ 3 の紹介」(JAEA・山根氏) ・今後、放射性物質(RM)を広く扱うこととし、他分野との情報交換も行っていくとの趣旨に則り、再処理施設での SA 時における RM 挙動について、研究 WG である SAGW の活動内容を紹介頂いた。 ・再処理施設のリスク評価手法、リスク評価事例が紹介された。特に、人間信頼性解析(HRA)としての THERP 手法、重要物理／化学現象のランキングテーブル(PIRT)の活用などが特徴的である。 6. その他 ・今後も講演を中心にプログラムを検討する。
備考	次回は、2025 年 10～11 月を予定する。

2025 年 5 月 26 日

専門委員会開催報告

会合名	「過酷事故時及び事故後の放射性物質挙動」研究専門委員会 第 2 回幹事会
会議種別	本会議　幹事会　メール審議　その他*(　　)
開催日時	2025 年 5 月 20 日（金）　11:20～12:00
開催場所	Web 会議(Webex)
参加者名	佐藤主査、唐澤幹事、三輪幹事、江藤幹事、高木幹事（合計 5 名）
議事	1.　委員分担の確認 ・ 本研究専門委員会の活動に当たり、各委員の役割分担を確認した。 ・ 本会議の議題、講演者、日時、講演依頼、開催案内、議事録作成、等を分担して行うこととした。 ・ その他、企画セッションの計画、解説記事の作成、等を行う。 2.　第 1 回委員会（本会議）について ・ 日時は、6/13（金）10:00～12:00 とし、Web 会議（Teams）での開催とする。 ・ 議題は、設立趣旨確認、委員紹介、技術報告書紹介、核燃料施設シビアアクシデントに関する講演とする。 ・ 講演は JAEA・山根様にお願いする。 ・ RM 挙動に関して広く知見を集積すべく、第 1 回のトピックスとしては再処理施設における RM 挙動に関し、SAWG(核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ)フェーズ 3 の紹介を行って頂く。 ・ 討論の時間を 20 分程度設けることとする。 ・ 開催案内は来週中に発送する。 3.　その他 ・ 第 2 回委員会（本会議）を 9～10 月に実施する予定である。そのため、次回幹事会は 8～9 月に開催することとする。
備考	次回幹事会；8～9 月に開催予定

2025 年 5 月 26 日

専門委員会開催報告

会合名	「過酷事故時及び事故後の放射性物質挙動」研究専門委員会 第 1 回幹事会
会議種別	本会議　幹事会　メール審議　その他*(　　)
開催日時	2025 年 4 月 18 日（金）　10:00～11:40
開催場所	Web 会議(Webex)
参加者名	佐藤主査、高木幹事、三輪幹事、江藤幹事、唐澤幹事 （合計 5 名）
議事	1.　本委員会運営方針 ・ 佐藤主査から過年度の活動を振り返り、本委員会の運営方針が提案された。議論の結果、下記運営方針を決めた。 ① 1F 廃炉作業とその処理・処分に関する 1F 廃炉関連事業等から得られる最新情報の共有 ② 放射性物質（FP 及びアクチノイドなどの放射性核種、及びその化合物）のマスバランスに関する最新情報の共有 ③ 放射性物質に関する知見を他分野（再処理、燃料製造、宇宙用原子力電池等）に展開するための意見交換の促進 ④ 研究成果の利用（新型炉、SMR、等） ・ 委員会は原則 3 回/年開催する。 ・ 委員会は講演中心で行い、講演テーマや講演者は幹事会で検討する。 ・ 上記運営方針の①、②に関しては、前委員会「1F 廃炉に係る FP 挙動」研究専門委員会でまとめた課題の解決に資するテーマとする。 ・ 上記運営方針③に関しては、廃炉委員会への報告など部会や他委員会からの要望を確認し、本委員会の活動に反映させていく。 2.　幹事の分担決め ・ 以下を幹事の持回りとする；幹事会進行、議事録作成、講演依頼、委員会進行 3.　次回委員会 ・ テーマ；「核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ報告書」に関する講演（上記運営方針③）。 ・ 開催日は5月末から6月初旬。 ・ 第1回委員会なので、運営方針の説明と前委員会でまとめた技術報告書の概要を説明する。
備考	次回幹事会；5/20、11:00～12:00